



書林
126

持啓昨朝亭取込の

内模様の文意是也

妨け仕を甚切は思

持参の仕し又母懸

けて先人念り付物事

上等物の物事しは其

内一筆を供する事おん

下様へ持くせざる事

女...
...

持多の仕し方と懸

けと先念り付持

上等物の物さし

由一美を供する

下傑と持くせる

即ち鹿島の名物

の蒲焼の籠詰

一たび笑う

少中ひあす

高一切荷物を

上乗る何もの

品も所持上

所持する上

持たせ

可笑味

...

